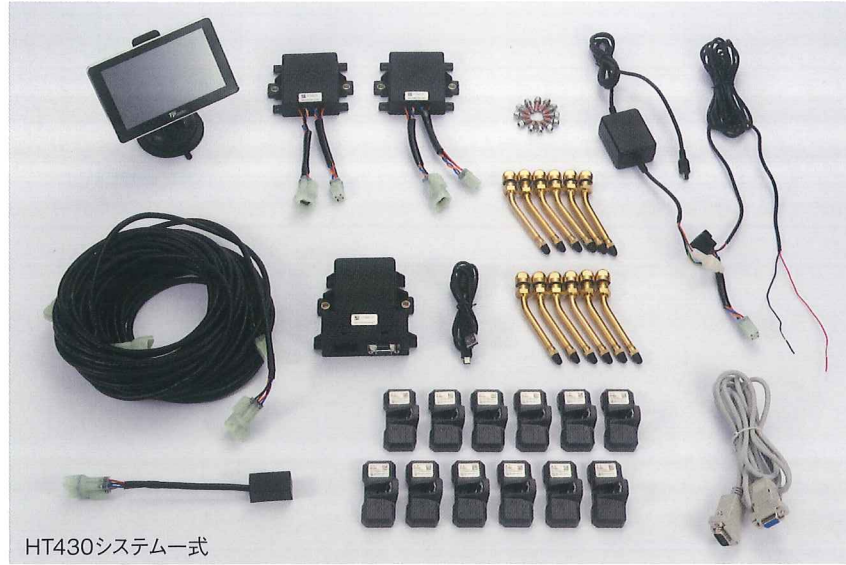


HT430



HT430システム一式



センサー装着バルブ



センサー装着ベルト

TPチェッカー「HT430」を導入した場合のシミュレーション(10輪トラック150台保有の場合)

削減項目		年間損失額	
*安全面効果		¥13,650,000	
*作業効率化効果		¥21,600,000	
*燃費悪化防止とタイヤ磨耗減少効果		¥14,959,696	
年間損失合計:		¥50,209,696	
試算条件			
*軽油単価(H25.8.1現在)	130円	タイヤ平均価格	33,000円/本
年間走行距離	120,000km	タイヤ推定寿命	120,000km
平均燃費	3.56km	kmあたりの平均タイヤ費用	0.275円/km
*一般的なトラックタイヤ空気圧は約850kPaです。月間10%減少にて試算。		一車両あたりの削減効果	
*1ヶ月間の空気漏洩によるタイヤ空気圧の減少率10%		334,731円(年間)	
*詳しい計算式はwww.ojtpms.co.jpをご参照下さい。		HT430導入コスト/車両	
		160,000円	
		HT430導入費用対効果	
		174,731円(年間)	

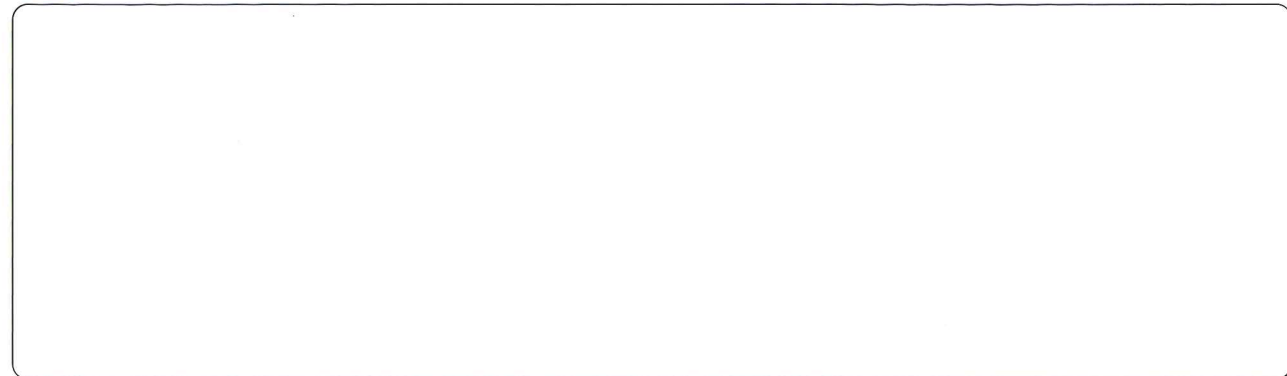
HT430仕様一覧

HT430センサー 仕様		HT430レシーバー 仕様	
電池寿命	3~4年(但し期間を保証するものではありません)	作動電圧	DC12V~24V(入力電圧可能範囲:9V~35V)
センサー保存温度	-40℃~125℃	サイズ	78.2mm×63.2mm×22mm 線長:100mm
センサー作動温度	-30℃~110℃	重量	113g
センサー作動周波数	315MHz(日本の電波法規に準ずる)	HT430_PND 仕様	
圧力測定範囲	0bar~13bar	作動電圧	DC5V
圧力誤差範囲	正常圧力状態で0.24bar	表示器	5.0 in "TFT フルタッチコントロール(full touched control)"
温度誤差範囲	±4℃(一般環境)	低空気圧警告設定範囲	1.2bar~12.2bar
センサー重量	27g ± 3g	高空気圧警告設定範囲	1.5bar~12.5bar
		温度設定範囲	60℃~100℃
		サイズ	137.6mm×86.0mm×11.8mm
		重量	190g(±2g)
		言語	日本語、英語、中国語
HT430_ECU 仕様			
作動電圧	DC12V~24V(入力電圧可能範囲:9V~35V)		
サイズ	96mm×84.8mm×34.4mm		
重量	115g		



カスタマーサポートセンター 03-5368-1510

株式会社オレンジジャパン 〒160-0002 東京都新宿区坂町28-1 三廣ビル1F
TEL 03-5368-1566 FAX 03-5368-1585 <http://www.ojtpms.co.jp/>



安全、そして安心も運びませんか。

TP Checker
HT430
タイヤ空気圧・温度
モニタリングシステム

TP Checker HT430は
キャンピングカー、ライトトラックから大型車まで
様々な車両レイアウトに対応可能です。



タイヤ空気圧・タイヤ内温度の可視化でワンランク上の運行輸送を実現します!

現場の声

温度の警告灯が付いてたおかげで、ブレーキの引きづり・ハブの焼き付きにいち早く気が付き、事故や大きな車両のトラブルを未然に防げました。



メンテナンスコスト削減

管理者様の声: TPMSを装着した事により、運行前点検時のタイヤ空気圧点検が非常にスムーズに行えるようになり時間短縮・ドライバーの負担が軽減された。

ドライバー様の声: 10輪車のタイヤ点検時には、1輪約2分かかっていた作業がモニターを見るだけで点検できた。後輪のダブルタイヤは、エアーゲージを使って空気圧を点検するのがとても困難だったが、TPMSはモニターを見るだけで楽に点検できる。屈んだり覗き込んだり体の負担も無い。



輸送品質向上

N車運転管理者様の声: TPMS (HT402)を導入後2年間、タイヤやブレーキに関する車両トラブルや事故が0になった。(150車輛)



危機管理

ドライバー様の声: パーストする直前、空気圧の警告灯が知らせてくれたおかげで、いち早く減速でき大事故を未然に防げた。今でも、アクセルを踏んでるままパーストしたらと思うとゾッとします

ドライバー様の声: 運転前点検にて、いくら注意深くタイヤを点検していても走行中のタイヤの状況まではわからないので、TPMSがあると安心感が繋がります。



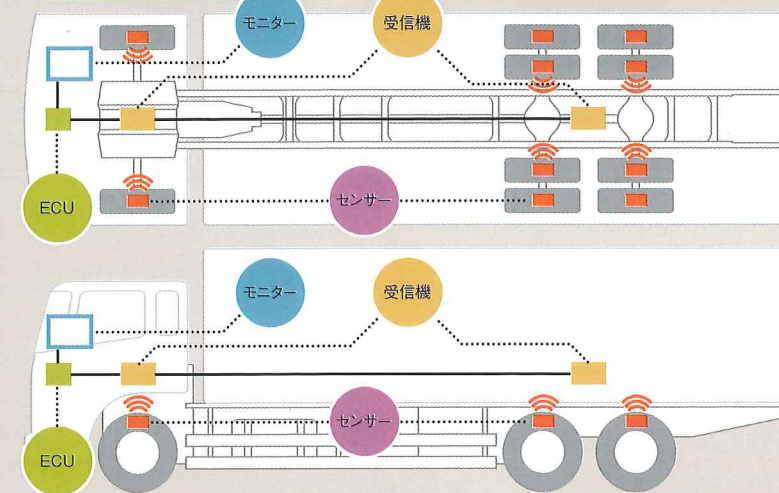
安全・燃料コスト削減

管理者様の声: 管理者も空気圧管理が出来る事で、ドライバー個々に対してより細かく空気圧の重要性について認識を促せた。全体的に、燃料コストの削減にも効果があった。

TPMSとは

TPMSとは、Tire Pressure Monitoring System (タイヤ空気圧監視システム)の略で、タイヤの空気圧や温度を送信機内のセンサーで直接計測し、その情報を無線で車体側の受信機に送り、ドライバーは運転席についているモニターで常にタイヤの状況を把握できるシステムです。タイヤに異常が起きた場合には、運転手へいち早く警告します。(警告表示・警告音)

2×4×4の場合



車載器との連携が可能

車載端末(デジタコ)と連携し、空気圧と温度のデータをトラックの走行データと共に記録できます(走行記録共に、空気圧・温度の記録を残せます)。異常があった場合、管理者もタイマーに状況が把握でき、スピーディーな対応が可能です。

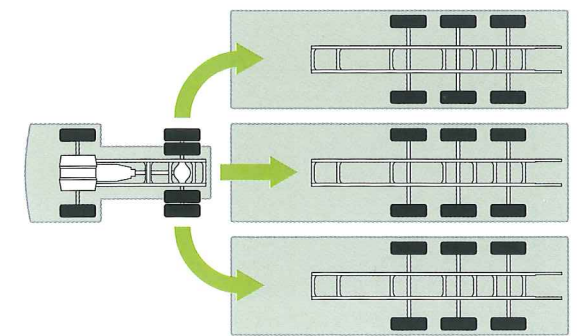
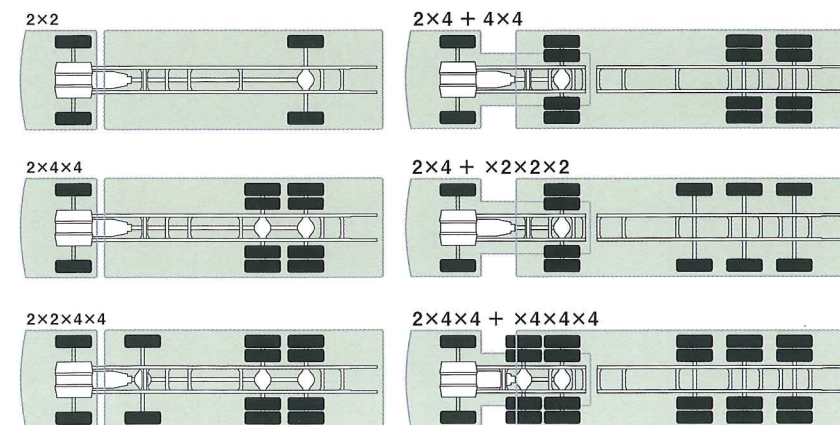


多彩な車両レイアウトに対応

■センサーと受信機を追加することで、4輪から最大30輪まで対応可能。

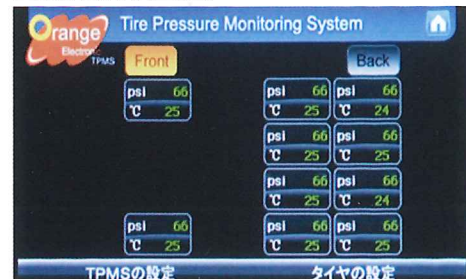
■トレーラーモデルの特色

トレーラーごとに、タイヤ情報を管理しているので、トラクターヘッドとトレーラーを連結するだけで難しい操作など必要無く自動認識し使用出来ます。※但し弊社TPMSセンサーが全輪に装着されている事。



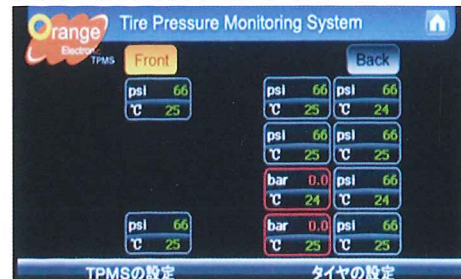
タッチパネルによる簡単な操作

正常動作画面



空気圧、温度を表示し常にドライバーにタイヤコンディションを知らせます。※ドライバーは安心感を持ち運転に集中できます。※運転前点検もモニター画面を見るだけで簡単に点検。

異常時、警告表示画面



ドライバーに異常をいち早く知らせ、安全に車を停車させる等対応可能です。(同時にブザー音により警告)

閾値の設定画面



センサー交換等のメンテナンスや、各種設定はタッチパネルで簡単に行えます。※通常使用時は、ドライバーは電源を入れる等まったく操作の必要がありません。